

ブルガリア・レスリング大会出場へ

川市選手（光星）「まず1勝」

本社支社訪れ意気込み

八戸

7月末にブルガリアで開幕する世界カデットレスリング選手権に、八学光星3年の川市竜之介選手の出場が決まった。このほど、八戸市の東奥日報社八戸支社



世界選手権に出場する川市選手④と濱田選手⑤、金淵監督

を訪れ、「まずは1勝を目指す」と抱負を語った。

川市選手は4月下旬に横浜市で開かれた全日本ジュニアレスリング選手権のグレコローマンスタイル80キロ級に出場。2回戦はポイントで0-6の劣勢から気持

ちを切り替えて見事逆転勝ちし、準決勝は下からの積極的な攻めで快勝した。決勝では、経験豊富な相手に技を封じられて敗れた。

中学2年生からレスリングを始めたという川市選手は「決勝では悔しい思いをした」と振り返った。約50カ国の16、17歳の選手が出場する世界選手権に向けて「もっと練習して大会に挑む。世界の技術を吸収したい」と述べた。

同校ではほかに、濱田浩暉選手（3年）が全日本ジュニア選手権グレコローマンスタイル92キロ級で3位に入った。世界選手権出場は逃したが「インターハイで優勝を目指す」と意気込みを語った。

中村良寛教頭、レスリング部監督の金淵清文教諭も来訪。金淵監督は川市選手について「せつかくのチャンスなので、世界で思いっきり自分の力を試してほしい」と激励した。

（月館慎司）